

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.33をお届けいたします。

facebook



7月のTOPICS

今月のFMD NEWSは、ビタミンE投与により、血液透析患者の血管内皮機能が改善するという報告がございましたのでご紹介させていただきます。

■ ビタミンEは末期腎不全患者の血管内皮機能とHDL機能を改善する

血液透析を必要とする末期腎不全患者は、心血管疾患(CVD)の危険性が高いことが示されている。実際、血液透析患者におけるCVD死亡率は、一般住民よりも30倍高い。また、最近の研究では末期腎不全患者においては、酸化ストレスと血管内皮機能障害が、CVD死亡への重要なリスク因子であることが示されており、抗酸化物質であるビタミンEを用いた治療は、末期腎不全患者のような酸化ストレスが亢進した患者において特に有効である。そこで、末期腎不全患者におけるHDLおよび血管内皮機能に対するビタミンEの影響を調べることにした。

方法としては、血液透析を受ける20歳から69歳までの40人の末期腎不全患者(20人の糖尿病患者と20人の非糖尿病患者)にビタミンEを12週間投与し、その後10週間のウォッシュアウトを行い、コレステロール流出能(CEC)、抗酸化能および抗炎症活性を含むHDL機能を調べた。糖尿病患者では、FMDにより血管内皮機能も評価した。

その結果、12週間のビタミンE投与によりCECおよびFMD($1.6 \pm 0.9\% \rightarrow 2.6 \pm 1.1\%$ $p = 0.009$)はともに有意に改善したが、抗酸化能および抗炎症活性に変化はなかった。加えて、10週間のウォッシュアウト後のCECおよびFMDは12週間後と比べ共に有意な変化はなくその改善は維持された。

引用元: Clinical Nephrology, DOI 10.5414/CN109197

この論文では、血液透析を受ける末期腎不全患者へのビタミンE投与は、HDL機能および内皮機能の改善により心血管疾患の罹患率および死亡率を低下させる可能性があるとして報告されています。

■ 7月学会のご案内

第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会
ランチョンセミナー・機器展示

日時: 7月12日(木) 12:10~13:00
場所: 大阪国際会議場 10F 第4会場
セミナー名: 「未完成の動脈硬化をどう評価するか?」
~ FMDをABI/PWV、IMTとどう組み合わせるのか~
座長: 濱口 浩敏 先生(北播磨総合医療センター)
演者: 東 幸仁 先生(広島大学)

・機器展示は、12日(木)と13日(金)となります。

第24回日本心臓リハビリテーション学会学術集会
機器展示

日時: 7月14日(土)・15日(日)
場所: パシフィコ横浜

皆様のご来場をお待ちしております。